

科目の種類	必修	科目名	古 典	学 年	3	単位数	4
コ ー ス	文理特進						
教 科 書	筑摩書房『新編古典』						
副 教 材	第一学習社『対訳古典文法』 桐原書店『重要古文単語315改訂版』						
<p>科目のねらい</p> <p>「古文」は、助詞・助動詞および 300 語程度の基本単語を習得し、自分で現代語訳できるようにする とともに、まとまった文章を読んで大意を把握できるようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「漢文」は、基本的な句法を習得し、よく用いられる字や語句を 100 程度習得し、文章を読んで大意 を把握できるようにします。 							
<p>授業の進め方</p> <p>「用言の活用」「助詞」「助動詞」「係り結び」「敬語」「和歌の修辞法」など、古文を読むのに必要な項目を整理して習得します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「返り点」「返読文字」「再読文字」「否定」「反語」「使役」「受身」「抑揚」など、読解の基本となる 句法を整理して習得します。 ・「古文」「漢文」とも、教科書の作品を読むだけでなく、プリント等を用いた読解練習および問題演習を行います。配布する教材は各自保管しておいてください。 ・授業の進度および習得の状況に応じて、適宜、問題演習の時間をとります。とくに後期は問題演習の割合を増やす予定です。 ・単語や文法、句法については、日常的に小テスト等を実施し、基本事項の習得をめざします。 							
<p>より良く学習を進めるためのアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単語や文法、句法の習得に際しては、こまめに小テスト等を実施します。1 回限りの学習にとどめず、後日繰り返して覚えるようにしましょう。 ・教科書および副教材を使用する授業の場合は、予習してから授業に臨みましょう。 ・文章の読解や問題演習は、答えを聞いて写していても力はずきません。間違えることは覚悟のうえで、必ず自分で読み、考え、答えるようにしましょう。 ・基本事項は、一度覚えただけでは本当の力にはなりません。ふだんの学習のなかで覚えた知識を活用してはじめて力になります。現代語訳したり、問題を解いたりする際に、知識を総動員してよく考えるようにしましょう。 ・予習はもちろん大切ですが、「古典」はとくに復習が重要です。その日のうちに時間をとって復習しましょう。 ・定期試験、実力テスト、模擬試験等は、受けた後で必ず復習するように心がけましょう。 							
<p>評価方法</p> <p>テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期テストの得点と小テスト等による得点を加味して総合的に評価します。 <hr/> <p>平常点について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席状況・授業態度・問題演習・課題提出などを加味して総合的に評価します。 							

学期	学 習 単 元	学 習 の 内 容 と ね ら い
前 期	『発心集』 「正算僧都の母」 『今昔物語集』 「兵だちける男」 「愚公移山」(列子)	古典文法や古語について確認する。 場面の展開と共に、歴史的背景をふまえ、人物の行動や心情を読み取る。 ・古典文法や古語について確認する。 ・場面の展開と共に、歴史的背景をふまえ、人物の行動や心情を読み取る。 ・説話の特徴について理解を深める。 ・故事成語の原典となる文章を読んで、中国の文化や歴史を理解し、漢文に親しむ態度を養う。
	第 1	回 定 期 考 査
後 期	『枕草子』 ・「野分のまたの日こそ」 「すさまじきもの」 「漁父辞」(楚辞)	『枕草子』の日記的章段を読み、作品世界の広がりを感じ取る。 ・古典文法や古語について確認する。 ・表現を的確に読み取り、作者の感覚を把握する。 ・『枕草子』の特徴や、清少納言についての理解を深める。 中国の文章を読んで、それをもとに自身の考えを深める力を養う。 ・本文の内容を把握し、登場人物の心情を理解する。 ・本文に描かれた当時の中国の人々の生活や、ものの見方・考え方を理解する。 ・屈原について理解する。 ・漢文の特色を声に出して味わう。
	第 2	回 定 期 考 査
後 期	『源氏物語』 「光源氏の誕生」 老子 「大道廃有仁義」 「小国寡民」 莊子 「渾沌」 「胡蝶之夢」	『源氏物語』を読み、優れた文化遺産である古典への興味を深める。 ・古典文法や古語について確認する。 ・人物の心の動きを表現に即して読み取る。 ・和歌・自然描写などの表現に注意して読み味わう。 ・『源氏物語』の特徴や、紫式部について理解する。 中国古代の思想に関心を持ち、それぞれの思想の論理展開について考える力を養うとともに、さまざまな思想について学ぼうという態度を養う。 ・『老子』各文の内容を把握し、その論理展開を理解する。 ・『老子』に描かれた当時の中国の人々の生活や、ものの見方・感じ方・考え方を理解する。 ・『老子』について理解する。 ・漢文の特色を声に出して味わう。 ・『莊子』各文の内容を把握し、その論理展開を理解する。 ・『莊子』に描かれた当時の中国の人々の生活や、ものの見方・考え方を理解する。 ・『莊子』について理解する。 ・漢文の特色を声に出して味わう。
	第 3	回 定 期 考 査
後 期	古文 問題演習(プリント) 漢文 問題演習(プリント)	・過去の大学入試問題を中心に問題演習を行い、適宜、単語や文法の確認をします。 ・主として大学入試センター試験を中心に問題演習を行い、適宜、単語や句法の確認をします。
	第 4	回 定 期 考 査
後 期	第 5	回 定 期 考 査